



フューチャーズ24情報・マンスリーレポート 2018年6月号

◆6月の商品相場見通し

●金相場＝6月米FOMC結果で安値を更新する可能性も

NY金は6月米FOMCで追加利上げが決定され、参加者の政策金利見通しで今年の利上げ想定回数がこれまでの3回から4回に上方修正されるようだと、買い方の手じまい売りなどに急落することが予想され、中心限月の期近8月限は5月21日に付けた中心限月ベースでの年初来安値1281.20ドルを更新する可能性がある。東京金の先限も4500円の節目を割り込み、3月19日に付けた年初来安値4438円を試す動きになることが予想される。

●白金相場＝上値の重い展開が続く

6月の東京白金は軟調推移が見込まれる。米FOMCを来週に控え、良好な5月の米雇用統計などの経済指標を背景に、米FRBが「年3回」としていた利上げ想定回数を「年4回」に引き上げるのではないかとの思惑が強まり、対主要国通貨でのドル高傾向が継続。為替のドル高は、ドル建てNY白金が割高感から売られる要因となる他、白金の主要生産国である南アフリカ共和国通貨ランドの下落により、同国に所在する白金鉱山の輸出採算が改善し増産期待が強まることで白金相場の上値を押える要因となる。

●原油相場＝軟調な展開に

NY原油相場は石油輸出国機構(OPEC)と非OPEC諸国の協調減産を緩和しようとする動きが浮上していることを背景に軟調な展開が予想される。また、22日のOPEC総会までは産油国高官らの発言に一喜一憂する状況が続きそうだ。

●穀物相場＝下値を模索する展開に

シカゴ大豆は、世界的な貿易摩擦に伴う米国産大豆の需要減退観測が根強い現状を踏まえると、下値を模索する展開になると予想。

シカゴ・トウモロコシは現状の米中西部産地は生育に適した天候が続いている上に、世界的な貿易摩擦に伴う米国産トウモロコシの需要減退観測が根強いことを考慮すれば、大豆同様に下値を探る展開になると予想

◆6月中旬～7月上旬の重要イベント

●6月12～13日

◇米連邦公開市場委員会(FOMC)

●6月14日(木)

◇欧州中央銀行(ECB)定例理事会

●6月14～15日

◇日銀政策委員会・金融政策決定会合

●6月22日(金)

◇石油輸出国機構(OPEC)総会

●7月6日(金)

◇6月の米雇用統計



◆原油相場概況（5月）

●5月のNY原油市場＝一時は2014年11月以来の高値に急騰

5月のNY原油相場は、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペース加速見通しなどを背景にドル高・ユーロ安が進行し、ドル建てで取引される原油の割高感が広がり、1日に4月18日以来約2週間ぶりの安値を付けた後は、2日の米連邦公開市場委員会（FOMC）声明が、利上げペースの加速を明確に示唆するほどのタカ派的な内容ではなかったことから、ユーロが対ドルで反転上昇したことに加え、3日の4月の石油輸出国機構（OPEC）加盟国産油量が減産目標を下回り、協調減産効果への期待感が広がったうえ、イラン核合意をめぐる地政学的リスクの高まりを背景に、7日に2014年11月以来約3年5カ月ぶりの70ドルの大台を回復。

その後も8日トランプ米大統領がイラン核合意からの離脱を表明し、イランに対して「最高レベル」の制裁を実施すると述べたうえ、16日の米エネルギー情報局（EIA）の週間在庫統計で、原油在庫が予想を上回る減少となり、ガソリン・留出油在庫も取り崩しを示したことで需給緩和懸念が後退。米中両政府は19日、貿易摩擦解消に向けた2日間の協議を終え、中国が米国産農産物やエネルギーを大量に輸入する一方、両国がともに関税引き上げなどの措置を棚上げすることで合意したとの共同声明を発表。また、20日のベネズエラ大統領選で反米左派のニコラス・マドゥロ大統領の再選が決まったことを受け、同国産原油の生産量が米国の経済制裁強化によって一段と落ち込む可能性があるとの懸念も浮上したことから、22日に再び2014年11月以来の高値を付けるとともに、5月の高値（72.83ドル）を付けた。

ただ、その後はOPECがイランやベネズエラの減産懸念を理由に早ければ6月にも産油量拡大の決定を下す可能性があることと報じられたことや、23日のEIA週報で、原油在庫が予想を大幅に上回る増加となったうえ、ロシアのノバク・エネルギー相が25日、OPEC加盟・非加盟国が6月に開くOPEC総会で徐々に産油制限を緩和する決定を下しそうだと言及したことから、世界的な需給均衡への期待感が急速に後退したことから、29日にかけて急速に値位置を切り下げ、同日に5月の安値（65.80ドル）を付けた後も、米国内でのシェールオイル増産の動きを背景に、6月に入ってから下値を切り下げている。

◆原油相場展望

●NY原油＝軟調な展開に

NY原油相場は石油輸出国機構（OPEC）と非OPEC諸国の協調減産を緩和しようとする動きが浮上していることを背景に軟調な展開が予想される。

トランプ米大統領は5月8日、イラン核合意から離脱すると表明し、対イラン制裁再開を決定。イランは日量約380万バレルと世界の4%の原油を生産するが、その輸出が細る懸念が強まった。21日には、OPECメンバーのベネズエラで、反米左派のマドゥロ大統領が再選した。これに対し、トランプ大統領はベネズエラに新たな経済制裁を科す大統領令に署名。石油などのベネズエラ資産に絡む売掛債権取引などへの米国人の関与を禁止し、ベネズエラの原油生産の落ち込みが懸念された。これを受け、OPECが6月22日の総会で、経済危機に陥っているベネズエラと、米国が核合意から離脱したイランの減産分を補うため、生産量引き上げを決定する可能性があるとの報道が出た。ロシアのノバク・エネルギー相も、市場の均衡化が確認されるなら、産油制限を「慎重に」緩めることも可能との認識を示した。

減産緩和については、サウジアラビアやロシア高官らが、イラン、ベネズエラの減産懸念を穴埋めするため日量100万バレル程度の増産を検討していることが報じられており、産油国高官らの発言に一喜一憂する状況は6月22日のOPEC総会まで続くと思われるが、少なくとも22日までは徐々に下値を切り下げる展開が予想される。

また、米国のシェールオイル産地のパーミヤン地域では、パイプライン敷設の遅れから在庫が滞留している。米国全体の増産ペースは顕著であり、需給の緩みからNY原油は上値が抑えられやすいことに加え、米国が欧州連合（EU）やカナダ、メキシコに対し、鉄鋼製品などの輸入関税適用を発動。世界的な貿易停滞に対する懸念の高まりを背景に、投資家のリスク回避姿勢が広がっている。貿易戦争は欧米原油相場にも影響を与えかねない上、為替の円高・ドル安につながりやすいことから、東京原油も上値を抑えられることになりそうだ。



◆原油需給動向

●米、イラン核合意離脱＝「最高レベル」制裁実施へ

トランプ米大統領は5月8日、ホワイトハウスで演説し、2015年に欧米など主要6カ国とイランが結んだ核合意から離脱すると発表した。合意維持を求めてきた欧州諸国との間に深刻な亀裂が生じかねない。イランは核合意に留まる意向を示したが、米国による制裁復活に今後対決姿勢を強め、中東情勢が緊張する事態に発展する可能性もある。

トランプ氏は演説で、核合意を「一方的でひどい合意だ」と批判。「現在の合意の腐った仕組みでは、イランが核兵器を開発することを阻止できない」と主張した。合意で解除された制裁を再発動し、「最高レベル」の経済制裁をイランに科す方針を示した。

また、トランプ氏は、北朝鮮との核交渉を念頭に「きょうの措置は重大なメッセージだ」と強調した。「欠陥がある」と非難するイラン核合意を否定することで、6月初旬までに開催予定の米朝首脳会談でも「完全な非核化」の実現で妥協しない構えを示す狙いがある。

トランプ氏は17年10月、核合意は米国の国益に見合っておらず、「イランは合意を順守していない」と認定。今年1月には、制裁の再発動は見送る一方、弾道ミサイル開発制限が盛り込まれていないことなど「合意の欠陥」の修正を欧州諸国に求め、今月12日までに修正できなければ離脱すると警告していた。

トランプ氏は今回の離脱発表で「イランの核の脅威に対する包括的な解決策を見いだすために同盟国と協力していく」と強調した。だが、フランスのマクロン大統領らの説得を受け入れずに合意離脱に踏み切った経緯があり、実効性のある措置を講じることができるかは不透明だ。

イラン産原油輸入目的でイラン中央銀行と取引する外国金融機関などへの制裁は核合意で解除されていたが、最大180日間の猶予期間の後に再発動される。日本や欧州の原油輸入に影響を及ぼす可能性がある。

●英独仏、米説得できず＝核合意消滅の危機

イラン核合意締結国の英国、ドイツ、フランスの3カ国は、合意維持に向けてトランプ米大統領の説得に奔走したが、離脱を阻止することはできなかった。イランはロウハニ大統領が当面は核合意にとどまる意向を表明したものの、最高指導者ハメネイ師は「欧州も信用ならない」と主張。合意は消滅の危機に直面している。

中東情勢が緊迫する中、武力行使に頼らず多国間協議で達成した核合意は「欧州外交で最高の業績」（独誌シュピーゲル）と評されてきた。メルケル独首相は9日、核合意は「疑問を投げ掛ける余地のない重要な柱だ」と強調し、「イランが合意を順守するよう何でもする」と語った。

ルドリアン仏外相は「米国が離脱しても合意は死んでいない」と訴え、ジョンソン英外相も「離脱するつもりはない」と足並みをそろえた。

欧州諸国が核合意維持を重視する背景には、イランとの経済的な結び付きもある。欧州では、2015年の核合意締結を受けた経済制裁解除の後、イランからの原油輸入量が大幅に増加。特に独仏は対イラン投資を活性化させている。

米国が対イラン経済制裁を再開すれば、取引のある欧州企業も二次制裁を受ける恐れがある。英独仏首脳は8日の共同声明で「他国の（合意）履行を妨げないよう米国に求める」とけん制。仏大統領府は9日、「われわれの企業の利益を守る」と強調した。

イランが現時点であえて合意維持の道を選択したのも、欧州からの投資に大きな意義を見いだしているからだ。今後、米国が欧州側に経済制裁に同調するよう圧力を強めてくるのは必至だが、これに応じれば合意の完全崩壊に直結する。ハメネイ師は「欧州3カ国の保証を得られなければ合意に残ることはできない」と主張しており、英独仏は難しい対応を迫られている。

●米イラン新戦略に賛否＝欧州慎重、イスラエル歓迎

ポンペオ米国務長官が「前例のない経済的圧力をかける」と表明した米国の対イラン新戦略に対し、各国から21日、賛否が相次いだ。当事国イランのロウハニ大統領は「すべての国は独立した決定を下す。米国が世界のために決定を下すことなど認めない」と強く反発した。

イランのザリフ外相もツイッターで「米国外交は幻想と破綻した政策にとらわれ、同じ誤った選択の繰り返しだ」と批判。イラン外務省も「あからさまな内政干渉と国連加盟国に対する違法な脅迫を非難する」と声明を出した。

イラン核合意維持の立場を確認している欧州も米国と距離を置く。欧州連合（EU）のモグリーニ外交安全保障上級代表（外相）は声明を出し「イラン核合意以外の選択肢はない」と訴えた。

イランが核合意を順守していることは国際原子力機関（IAEA）が確認しているとモグリーニ氏は指摘し「核合意からの離脱が、核拡散の脅威を防ぐことにどうつながるのか示していない」とポンペオ氏を批判した。新戦略でテロや人権問題など核開発以外の課題解決をイランに突き付けたことでも効果を疑問視した。

20カ国・地域（G20）外相会議開催地のアルゼンチンではマース独外相が記者会見し「多くはトランプ大統領が言ってきたことで、驚いていない。核合意に代わる選択肢は今のところなく、欧州が核合意を維持していく立場に変わりはない」と受け流した。

これに対し、イランと敵対するイスラエルのネタニヤフ首相は「正しい政策だ」と米国を支持する。新戦略に盛り込まれたイランのウラン濃縮停止や厳しい対イラン制裁は「中東の治安と地域の平和を最終的に保証し得る唯一の政策だ」と強調。「すべての国が米国の後に続くことを求める」と呼び掛けている。

●5月のイラン原油輸出、小幅減少＝米制裁にらみ

スイスのタンカー調査会社ペトロ・ロジスティクスによると、イラン産原油輸出が5月に若干減少した。米国による制裁をにらんで、買い付けが手控えられた可能性を示す初めての兆候という。

同社は、イラン産原油の購入業者が購入量の減少を急ぐことはない予想。米制裁措置は、業者が徐々に買い付けをやめるために180日間の猶予期間を設けている。

トランプ米大統領は8日、2015年のイラン核合意から離脱すると表明。同国の原油輸出を減らすために新たな制裁措置を導入する方針を示した。

ペトロ・ロジスティクスの幹部はロイター通信に対し、「（5月の）輸出量は、非常に高い水準だった4月の実績から日量10万バレル超減少しているが、現時点では、大幅な減少の兆しはない」と説明した。

イランは、4月の原油輸出が日量260万バレルで、制裁措置が解除された16年1月以降で最高水準となったと発表していた。

ロイター通信のデータでも、トランプ大統領が制裁発動の方針を発表して以来、イラン産原油輸出は減少しており、5月は日量約250万バレルと、4月から約10万バレル減少している。

●中国の原油輸入、対イラン制裁で元建て決済前進も

複数の為替関係者は5月10日、米国のイラン核合意からの離脱は、中国にとって原油輸入の人民元建て決済を要求するための大きな契機になるとの見方を示した。

イラン核合意からの離脱表明に続き、米政府は9日、対イラン追加制裁の用意があることも明らかにした。

中国は、イランからの原油輸入に元建て決済を要求し、世界最大の原油輸入国としての利点を生かすことができれば、今回の制裁措置で恩恵を受けることになる。

外国の対イラン投資とイランからの輸出は減少するとみられている。米コロンビア・スレドニードルの為替アナリストは、このことはイラン経済だけでなく、ドルの流動性にも影響を与えるとの見方を示す。制裁がイランに中国人民銀行（中央銀行）と人民元建て取引について協議したいと思わせる要因になるという。

中国は3月、原油輸入価格に対する支配力を高めるため、原油先物取引を開始した。ドル建てのブレント、WTIに對抗する元建ての国際指標となる可能性がある。

●OPEC、協調減産緩和の可能性＝早ければ6月にも決定か

石油輸出国機構（OPEC）は、イランとベネズエラの原油供給に関する懸念や、米国が原油高の行き過ぎに警戒感を強めていることを受け、早ければ6月にも増産を決定する可能性が出てきた。OPECや業界の関係者がロイター通信に対し明らかにした。

北海ブレント価格が、1バレル＝80ドル台まで上昇したことを受け、ペルシャ湾岸のOPEC加盟国は、原油市場を沈静化するための増産のタイミングと増産の各国割り当てについての協議を主導しているという。

ある関係者は「あらゆる選択肢を検討中だ」として、早ければ次回のOPEC総会が開催される6月にも増産が決定される可能性を示した。

別の関係者は「われわれは別のシナリオも検討している」と述べ、6月に産油制限の緩和を決定したとしても、実施までには3～4カ月かかると指摘した。

OPECの4月の減産順守率は166%。また、経済危機によるベネズエラの原油生産減少で、OPECなど産油国による減産量は想定を上回った。

サウジアラビアのファリハ・エネルギー産業鉱物資源相は今週、ロシアとアラブ首長国連邦（UAE）のエネルギー相とロシア・サンクトペテルブルクで会談し、この問題をについて協議する。

●OPECなど産油国の協調減産、必要に応じ段階的な調整も＝関係筋

関係筋によると、サウジアラビアをはじめとする石油輸出国機構（OPEC）加盟国と非加盟産油国は、2018年末まで協調減産を継続する意向だが、供給不足を防ぐために段階的な調整を行う用意があるという。

関係筋は、原油市場の均衡を維持するため減産の延長もあり得ると指摘。必要に応じて何らかの増産を行う場合は、「段階的かつ慎重」に行われるの見方を示した。

産油国は18年末までの減産継続を表明しているが、複数の関係筋によると、サウジアラビアとロシアは原油相場の過熱を抑えるため、日量100万バレル前後の増産を行う可能性を協議しているという。OPECは6月22日に次回会合を開く。

●5月のOPEC産油量、17年4月以来の低水準＝ナイジェリアとベネズエラの減産で

ロイター通信が5月31日までにに行った調査によると、石油輸出国機構（OPEC）の5月の産油量は日量3200万バレルと、改定済みの4月実績から日量7万バレル減少した。2017年4月以来の低水準で、13カ月連続での減少となった。ベネズエラの減産、ナイジェリアの供給問題、協調減産の順守率が高かったことなどが要因。

OPECはロシアなど非加盟産油国との協調減産合意を踏まえ、17年から日量約120万バレルを削減している。これまでのところ協調減産の順守率は高く、5月は163%だった。4月の166%から低下したものの、合意をはるかに上回る水準だ。

OPEC加盟国で、5月に最も供給量を減少させたのはナイジェリア。予定されていなかった停電で、英・オランダ系石油大手ロイヤル・ダッチ・シェルの現地法人はポニーライト原油輸出に不可抗力条項を宣言した。フォルカドスなど他の原油の荷積み作業にも遅れも生じている。

またベネズエラでは、経済危機による石油部門の資金不足で、5月の産油量は日量145万バレルに落ち込んだ。

●米、OPECに増産打診＝日量100万バレル程度

米政府がサウジアラビアを含む複数の石油輸出機構（OPEC）加盟国に対し、非公式に増産を打診したことが5日、明らかになった。米ブルームバーグ通信やロイター通信が報じた。OPECは22日からウィーンで定例総会を開く。ブルームバーグによると、米は日量100万バレル程度の産油量の引き上げを求めたという。

OPECはロシアなどの非加盟国とともに、2018年末までの協調減産で合意している。ただ、イランをめぐる地政学的なリスクなどを背景に原油価格が上昇。北海ブレント原油が一時1バレル＝80ドル台を付けたことなどから、消費国からの増産圧力が強まっている。

●米原油生産、19年末に日量1200万バレル＝EIA短期見通し

米エネルギー情報局（EIA）が5月8日公表した月次短期エネルギー見通しによると、国内原油生産量は2019年第4四半期までに、日量1200万バレルに達し、従来予想を約50万バレル上回る見通しだ。

19年の米原油生産は前年比114万バレル増の日量平均1186万バレルの見通し。前月予想は同75万バレル増の日量1144万バレルだった。1月以降で日量100万バレル超の引き上げとなった。

18年の原油生産は、前年比137万バレル増の日量1072万バレルと予想した。

米国では、テキサス州、ニューメキシコ州、ノースダコタ州を中心にシェールオイルが増産され、10年以降に生産が急増した。今年は、過去最高を更新している。

●6月のシェールオイル生産、過去最高の日量718万バレルに増加＝EIA見通し

米エネルギー情報局（EIA）は5月14日付の掘削生産性リポートで、6月の国内シェールオイル生産が日量約14万5000バレル増の718万バレルと、過去最高水準に達するとの見通しを示した。このうちパーミアン盆地の生産量は7万8000バレル増の328万バレルと過去最高を更新する見込み。

バッケン層は2万バレル増の124万バレルと2015年6月以来の高水準、イーグルフォード層は3万3000バレル増の139万バレルで16年2月以来の高水準になるとみられている。

増産分の大半を占めるとみられるパーミアン盆地の生産ペースは、パイプライン輸送能力を既に上回っており、同地区の価格を押し下げる要因となっている。

●IEA、18年の世界石油需要見通しを下方修正＝原油高で鈍化

国際エネルギー機関（IEA）は5月16日、2018年の世界石油需要は日量140万バレル増加するとの見通しを示し、従来予想（150万ドル増）を下方修正した。原油価格が1バレル＝80ドルに向け上昇する中、主な石油輸入国で消費者向けの燃料費補助が縮小されているとして、需要鈍化の可能性を指摘した。

協調減産による効果で原油価格は1年前から51%上昇。今月は米が対イラン制裁を示唆した事で、イラン産原油の供給が懸念され上昇した。

イランは石油輸出機構（OPEC）3位の産油国で、現在の生産量は日量380万バレル前後。制裁発動で輸出に深刻な影響が出る恐れがある。

IEAは18年のOPEC産原油の需要は平均で日量3225万バレルと予想。4月の生産量は日量3212万バレルだった。

4月の世界供給量は日量9800万バレルと、前年同月から日量178万バレル増加した。OPEC非加盟産国からの生産が増えたことが主因。

非加盟国の産油量は日量210万バレル増の同5980万バレル。過去最高だった米の産油量が寄与した。

18年のOPEC非加盟国の供給量は日量187万バレル増加するとし、従来予想（180万バレル増）から引き上げた。

◆2018年5月の価格データ

* 東京金・白金は夜間取引を含んだ価格。* NY金・白金は中心限月。

日	東京金		2019.4月限		NY金		2018.6月限		ドル建て金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	4616	4632	4600	4605	1316.00	1317.40	1302.30	1306.80	1315.20	1316.32	1301.51	1303.60
2	4602	4612	4583	4606	1304.40	1314.90	1304.30	1305.60	1304.00	1313.41	1303.56	1304.46
3					1305.50	1319.00	1305.20	1312.70	1304.33	1318.06	1304.17	1311.24
4					1312.80	1316.90	1308.50	1314.70	1311.90	1315.21	1308.01	1314.65
7	4614	4617	4595	4600	1316.30	1320.10	1310.60	1314.10	1314.65	1318.85	1309.91	1313.92
8	4599	4607	4587	4589	1314.10	1318.50	1306.20	1313.70	1313.17	1317.69	1305.81	1314.08
9	4591	4610	4575	4602	1315.30	1317.80	1304.20	1313.00	1314.09	1317.40	1304.11	1312.40
10	4598	4633	4592	4626	1312.80	1323.40	1310.60	1322.30	1311.74	1322.76	1310.51	1321.01
11	4628	4642	4623	4632	1321.80	1326.30	1317.00	1320.70	1321.04	1325.96	1317.41	1317.68
14	4633	4646	4624	4634	1318.30	1322.40	1312.80	1318.20	1318.16	1322.36	1312.42	1312.42
15	4639	4644	4619	4623	1313.20	1314.70	1288.20	1290.30	1312.69	1314.84	1288.31	1290.24
16	4623	4624	4569	4580	1290.10	1296.40	1285.70	1291.50	1289.52	1296.87	1286.20	1290.22
17	4581	4583	4549	4573	1290.20	1294.00	1284.00	1289.40	1290.13	1294.29	1285.41	1290.00
18	4573	4591	4564	4588	1290.00	1293.70	1285.10	1291.30	1290.35	1294.26	1285.81	1291.50
21	4589	4598	4579	4593	1290.30	1292.70	1281.20	1290.90	1290.51	1293.14	1281.76	1292.29
22	4583	4607	4581	4593	1292.30	1296.00	1287.20	1292.00	1292.45	1296.04	1287.40	1290.92
23	4600	4615	4573	4574	1290.60	1298.40	1286.70	1289.60	1290.75	1297.84	1287.86	1293.00
24	4574	4574	4546	4550	1293.30	1306.40	1292.20	1304.40	1293.65	1306.56	1292.51	1304.47
25	4563	4587	4559	4576	1304.00	1307.20	1299.40	1303.70	1304.00	1307.80	1299.61	1301.17
28	4579	4590	4555	4557					1298.34	1300.06	1295.21	1297.70
29	4557	4564	4542	4546	1299.00	1306.10	1291.40	1299.00	1297.79	1306.25	1293.40	1297.96
30	4536	4558	4526	4535	1298.00	1303.70	1295.20	1301.50	1298.57	1304.25	1295.30	1301.03
31	4528	4564	4526	4551	1301.00	1306.80	1296.60	1300.10	1301.11	1306.46	1297.50	1297.92
日	東京白金		2019.4月限		NY白金		2018.7月限		ドル建て白金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	3197	3227	3181	3182	906.00	907.40	893.20	894.20	901.50	905.60	888.50	890.00
2	3183	3191	3161	3180	895.60	902.20	893.10	893.80	890.50	901.70	888.00	890.00
3					896.70	907.60	895.10	904.00	891.00	906.00	890.00	899.50
4					904.40	911.70	898.60	910.30	902.50	910.10	894.00	906.00
7	3189	3230	3170	3222	912.80	920.00	910.40	913.30	907.50	918.70	905.74	908.00
8	3221	3230	3201	3203	913.00	915.20	907.80	912.10	911.00	914.00	900.00	912.00
9	3206	3227	3193	3220	914.70	918.60	908.50	916.60	909.00	917.60	903.50	910.00
10	3219	3246	3215	3240	915.90	929.20	914.40	925.10	912.00	927.20	908.00	924.00
11	3243	3270	3241	3257	928.20	930.70	922.20	925.90	922.50	929.10	917.00	921.50
14	3262	3271	3246	3262	923.50	928.80	910.90	914.90	920.00	927.20	905.00	905.00
15	3268	3273	3219	3221	911.00	913.80	896.10	897.20	908.00	912.40	892.24	892.99
16	3220	3220	3191	3198	897.90	900.90	888.10	889.80	895.90	900.10	883.50	887.50
17	3195	3199	3160	3170	891.90	895.50	883.60	892.10	891.00	894.30	879.00	888.50
18	3174	3196	3162	3178	892.10	892.50	881.20	886.50	889.00	891.40	876.50	882.75
21	3183	3186	3160	3167	887.30	902.80	877.80	899.80	882.99	901.80	873.50	896.00
22	3164	3233	3161	3218	901.40	912.00	896.30	908.80	898.00	910.90	891.50	903.00
23	3226	3256	3211	3220	906.80	910.40	898.20	900.80	901.50	909.70	894.00	899.24
24	3216	3218	3188	3201	903.30	914.70	903.30	912.60	898.00	914.30	898.00	909.00
25	3213	3223	3204	3213	911.20	913.70	898.70	901.30	908.50	912.80	894.00	896.50
28	3220	3223	3175	3191					895.50	907.10	895.50	901.00
29	3192	3204	3184	3194	899.90	910.50	899.90	905.90	902.70	909.80	895.85	904.00
30	3183	3200	3172	3183	905.60	911.90	903.50	908.50	901.00	911.00	897.25	906.50
31	3180	3206	3172	3201	909.40	916.00	906.60	910.10	908.30	914.80	901.50	901.50

* 東京原油は夜間取引を含んだ価格。 * NY原油は中心限月。

日	東京原油		2018.10月限		NY原油		2018.7月限 23日から8月限		NYダウ工業株30種平均			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	46690	47140	46690	47070	68.56	68.90	66.85	67.25	24117.29	24117.29	23808.19	24099.05
2	46990	46990	45980	46280	67.49	68.14	66.92	67.93	24097.63	24185.52	23886.30	23924.98
3					67.68	68.60	67.21	68.43	23836.23	23996.15	23531.31	23930.15
4					68.50	69.97	68.12	69.72	23865.22	24333.35	23778.87	24262.51
7	46460	47790	45920	47790	69.85	70.84	69.51	70.73	24317.66	24479.45	24263.42	24357.32
8	47620	48090	47340	47650	70.03	70.40	67.63	69.06	24341.35	24412.34	24198.34	24360.21
9	47520	48570	46080	48380	70.05	71.36	69.85	71.14	24399.18	24586.48	24323.87	24542.54
10	48660	49390	48480	49360	71.23	71.89	70.56	71.36	24591.66	24794.99	24575.91	24739.53
11	49440	49520	48530	49070	71.45	71.63	70.45	70.70	24758.64	24868.65	24717.50	24831.17
14	48980	49190	48580	48650	70.54	71.26	70.26	70.96	24879.37	24994.19	24862.52	24899.41
15	48670	49830	48550	49720	71.15	71.92	70.42	71.31	24809.55	24809.55	24629.39	24706.41
16	49730	50590	49660	50120	71.02	71.59	70.66	71.49	24722.32	24801.19	24672.79	24768.93
17	50010	51040	49620	51040	71.56	72.30	71.09	71.49	24752.40	24839.49	24639.40	24713.98
18	51140	51850	51020	51430	71.60	71.75	70.99	71.28	24707.72	24774.97	24664.87	24715.09
21	51410	51690	50680	51450	71.47	72.59	71.25	72.24	24883.06	25086.49	24883.06	25013.29
22	51390	51610	50860	51530	72.53	72.83	71.90	72.13	25047.55	25064.99	24812.06	24834.41
23	51730	52190	50870	51010	72.11	72.26	71.19	71.84	24757.71	24889.46	24667.12	24886.81
24	50940	51340	50260	50770	71.83	72.00	70.52	70.71	24877.36	24877.36	24605.90	24811.76
25	50860	50980	50200	50200	70.65	70.80	67.42	67.88	24781.29	24824.22	24687.81	24753.09
28	50160	50210	47460	48020								
29	48240	48480	47770	48120	67.55	67.55	65.80	66.73	24606.59	24635.18	24247.84	24361.45
30	48110	48500	47350	47980	66.85	68.67	66.35	68.21	24467.83	24714.48	24459.09	24667.78
31	47900	49670	47900	49300	68.24	68.30	66.56	67.04	24620.79	24620.79	24352.15	24415.84

日	ドル・円				ユーロ・ドル				日経平均株価			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	109.33	109.88	109.22	109.85	1.2076	1.2083	1.1981	1.1991	22453.42	22519.45	22411.43	22508.03
2	109.85	110.00	109.58	109.89	1.1991	1.2031	1.1937	1.1946	22568.19	22568.19	22426.55	22472.78
3	109.82	109.91	108.92	109.17	1.1950	1.2008	1.1946	1.1985				
4	109.19	109.27	108.64	109.08	1.1987	1.1995	1.1911	1.1963				
7	109.05	109.39	108.75	109.09	1.1957	1.1977	1.1898	1.1923	22513.22	22513.48	22350.91	22467.16
8	109.09	109.34	108.82	109.12	1.1922	1.1938	1.1838	1.1864	22440.65	22566.68	22423.23	22508.69
9	109.12	109.83	108.99	109.72	1.1863	1.1896	1.1822	1.1853	22463.01	22478.64	22364.75	22408.88
10	109.73	110.00	109.31	109.39	1.1850	1.1945	1.1842	1.1915	22482.51	22530.64	22418.75	22497.18
11	109.38	109.56	109.15	109.33	1.1915	1.1967	1.1890	1.1941	22573.95	22769.16	22545.47	22758.48
14	109.38	109.66	109.20	109.64	1.1937	1.1996	1.1927	1.1928	22705.30	22894.76	22683.64	22865.86
15	109.63	110.45	109.62	110.36	1.1926	1.1938	1.1820	1.1837	22889.47	22912.06	22805.72	22818.02
16	110.35	110.38	110.03	110.34	1.1837	1.1853	1.1764	1.1807	22730.12	22796.14	22695.84	22717.23
17	110.39	110.85	110.08	110.75	1.1806	1.1837	1.1776	1.1794	22820.62	22887.03	22799.16	22838.37
18	110.75	111.08	110.61	110.76	1.1792	1.1822	1.1749	1.1769	22907.20	22954.19	22867.30	22930.36
21	110.88	111.38	110.81	111.02	1.1772	1.1795	1.1716	1.1791	22937.58	23050.39	22935.31	23002.37
22	111.03	111.18	110.79	110.91	1.1791	1.1829	1.1756	1.1777	23025.95	23031.67	22952.87	22960.34
23	110.89	110.91	109.54	110.06	1.1777	1.1789	1.1675	1.1696	22868.79	22949.73	22649.85	22689.74
24	110.07	110.09	108.95	109.25	1.1695	1.1749	1.1690	1.1721	22621.29	22644.69	22366.60	22437.01
25	109.22	109.73	109.11	109.38	1.1719	1.1733	1.1645	1.1648	22380.22	22509.36	22318.15	22450.79
28	109.55	109.82	109.22	109.41	1.1650	1.1728	1.1604	1.1622	22488.95	22547.67	22410.91	22481.09
29	109.40	109.46	108.11	108.75	1.1624	1.1639	1.1509	1.1535	22431.95	22439.10	22240.39	22358.43
30	108.75	109.07	108.34	108.91	1.1538	1.1675	1.1518	1.1665	22051.97	22079.23	21931.65	22018.52
31	108.89	109.00	108.39	108.83	1.1662	1.1723	1.1641	1.1696	22163.40	22254.42	22098.00	22201.82

*シカゴ穀物は中心限月。東京穀物は夜間取引を含んだ価格。

日	シカゴ大豆		2018.5月限		東京一般大豆		2019.4月限	
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	1048.75	1055.50	1041.00	1053.25	49900	50000	49900	50000
2	1053.25	1054.75	1039.25	1043.00	50000	50000	50000	50000
3	1043.00	1055.50	1034.00	1053.25				
4	1052.75	1052.75	1036.25	1036.75				
7	1034.75	1040.00	1010.75	1011.50	50250	50250	49820	49820
8	1013.50	1023.50	1011.25	1020.25	50000	50000	50000	50000
9	1020.75	1024.25	1011.25	1015.75	50050	50050	50050	50050
10	1017.50	1033.75	1014.25	1021.25	50150	50150	50150	50150
11	1021.00	1022.50	1002.00	1003.25	50200	50220	50200	50220
14	1001.75	1026.00	1001.75	1017.75	50700	50700	50700	50700
15	1017.25	1025.25	1005.25	1018.75	50800	50800	50800	50800
16	1017.75	1018.50	998.75	999.75	50800	50800	50800	50800
17	1001.00	1007.50	992.50	995.00	50800	50800	50800	50800
18	995.75	1007.75	992.75	998.50	50800	51050	50800	51050
21	1017.50	1027.00	1011.50	1025.25	51050	51050	51050	51050
22	1022.00	1036.00	1020.25	1030.50	51050	51050	51050	51050
23	1030.50	1039.75	1027.75	1039.25	51050	51050	51050	51050
24	1039.75	1050.75	1035.50	1035.75	51050	51050	51050	51050
25	1036.75	1044.00	1035.50	1041.50	51050	51050	51050	51050
28					51050	51050	51050	51050
29	1045.25	1049.50	1028.00	1030.50	51050	51050	51000	51000
30	1030.50	1031.75	1014.75	1023.00	51000	51000	51000	51000
31	1023.00	1030.75	1013.50	1018.50	51000	52050	51000	52050
日	シカゴ・コーン		2018.5月限		東京とうもろこし		2019.5月限	
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	401.00	406.00	399.75	405.75	25330	25590	25140	25450
2	405.00	406.25	403.75	405.00	25500	25690	25440	25570
3	404.75	408.25	403.25	408.00				
4	407.75	408.25	405.50	406.25				
7	405.00	405.75	400.25	400.75	25530	25660	25280	25490
8	400.50	404.00	399.25	403.25	25520	25530	25210	25230
9	403.75	404.75	402.00	402.75	25210	25630	25170	25600
10	403.00	407.00	400.00	402.00	25600	25820	25600	25710
11	401.25	401.75	395.75	396.50	25730	25840	25420	25420
14	396.25	397.50	394.25	396.50	25420	25430	25060	25230
15	396.25	402.50	396.00	402.25	25240	25540	25200	25520
16	401.75	404.75	398.00	399.25	25500	25770	25350	25640
17	399.00	402.00	395.00	395.25	25600	25730	25510	25730
18	395.25	403.50	395.00	402.50	25740	25950	25530	25930
21	405.50	407.50	401.25	402.75	25920	26550	25900	26500
22	402.25	407.00	401.00	404.75	26490	26530	26180	26250
23	404.50	409.00	403.00	408.50	26290	26490	26220	26270
24	408.25	412.25	403.75	404.25	26260	26400	25910	26100
25	404.00	406.75	403.25	406.00	26140	26280	25720	25840
28					25800	25840	25630	25730
29	408.75	410.00	397.50	400.00	25740	26060	25660	26060
30	398.25	398.50	390.75	393.50	26040	26060	25060	25240
31	393.50	398.50	393.25	394.00	25240	25300	25010	25120

マンスリー予定表(経済・商品6月)

現地日付	日本時間	発表内容	
7日(木)	18:00	今年第1四半期のユーロ圏GDP・確定値	
8日(金)	8:50	今年第1四半期の日本GDP・2次速報	
	12:00	5月の中国貿易統計 主要7カ国(G7)首脳会議(9日まで)	
9日(土)	10:30	5月の中国消費者物価指数(前年比)	
	10:30	5月の中国卸売物価指数(前年比)	
12日(火)	13日	21:30	5月の米消費者物価指数
		3:00	5月の米財政収支 米連邦公開市場委員会(FOMC、13日まで) 6月1日現在の米農務省・穀物需給報告 米エネルギー情報局(EIA)・石油市場月報 石油輸出国機構(OPEC)・石油市場月報
		21:30	5月の米卸売物価指数
		3:00	米連邦公開市場委員会(FOMC)声明発表
		3:00	米FOMC、政策金利・経済見通し発表
13日(水)	14日	3:30	パウエル米FRB議長・定例会見
		3:30	国際エネルギー機関(IEA)・石油市場月報
		3:00	米FOMC、政策金利・経済見通し発表
		3:00	米連邦公開市場委員会(FOMC)声明発表
14日(木)		11:00	5月の中国小売売上高(前年比)
		11:00	5月の中国鉱工業生産(前年比)
		20:45	欧州中央銀行(ECB)定例理事会
		21:30	ドラギECB総裁・定例会見
		21:30	5月の米小売売上高 日銀政策委員会・金融政策決定会合(15日まで)
		11:00	5月の中国小売売上高(前年比)
15日(金)		12:00	日銀政策委員会・金融政策決定会合
		18:00	5月のユーロ圏消費者物価指数・確定値(前年比)
		21:30	6月のニューヨーク連銀・製造業景況指数
		22:15	5月の米鉱工業生産指数・設備稼働率
		23:00	6月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・速報値
18日(月)		23:00	6月の全米住宅建設業協会(NAHB)住宅建設業者信頼感指数
19日(火)		21:30	5月の米住宅着工件数
20日(水)		21:30	今年第1四半期の米経常収支
		23:00	5月の米中古住宅販売件数
21日(木)		21:30	6月のフィラデルフィア連銀・製造業景況指数
		23:00	5月の米景気先行指数
22日(金)		8:30	5月の全国消費者物価指数(前年比、生鮮食品除く)
		22:45	6月の米製造業PMI(購買担当者景況指数)・速報値 石油輸出国機構(OPEC)総会
		23:00	6月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・確定値
25日(月)		23:00	5月の米新築住宅販売件数
26日(火)		22:00	4月のS&P/ケース・シラー米住宅価格指数(前月比)
		23:00	6月の米消費者信頼感指数
27日(水)		21:30	5月の米耐久財受注
28日(木)		21:30	今年第1四半期の米国内総生産(GDP)・確定値 欧州連合(EU)首脳会議(29日まで)
		21:30	6月のユーロ圏消費者物価指数・速報値(前年比)
29日(金)		21:30	5月の米個人消費支出・個人所得
		21:30	5月の米個人消費支出(PCE)物価指数(前年同月比)
		22:45	6月のシカゴ購買部協会景況指数
		23:00	6月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・確定値 2018年度米穀物作付け面積報告 米農務省・四半期穀物在庫報告
		23:00	6月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・確定値
30日(土)		10:00	6月の中国PMI(製造業購買担当者景況指数)

(注) 上記の予定は予告なく変更される事があります。

重要事項のご説明

※本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性・信頼性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供を目的としており、相場見通し等の確実性を保証するものではありません。なお、本レポートに記載されている内容の著作権は、原則として、当社およびその他情報提供者に帰属します。著作権法により、当社およびその他情報提供者に無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ掲載等することはできません。ご利用になりたい場合は、後述のお問い合わせ先にご連絡ください。

※商品先物取引は元本及び利益が保証されるものでなく、取引額が当社必要証拠金に比べて最高でおよそ40倍と大きいため、損失の額がお預り証拠金の額を上回るリスクもあります。又、相場変動や日数の経過によって追加預託が必要になる場合もあります。お取引を始める前に契約締結前交付書面をよくお読みになり、取引内容を十分ご理解の上、ご自身の判断と責任によりお取引下さい。

※ 当社必要証拠金の額は1枚当たり最高で**188,000**円、手数料は1枚当たり最高で**23,328**円(税込)となりますが、相場の変動によって変更される場合もあります。詳しくはその都度お問い合わせ下さい。
(平成30年6月1日現在)

※ 当社お客様相談窓口

(東京本社) **TEL0120-770-266** (平日 8:30~17:00)

※ 日本商品先物取引協会相談センター **TEL03-3664-6243**

※当社の企業情報は本・支店及びHP、並びに日本商品先物取引協会のHPでご覧頂けます

当社HPアドレス <http://www.dai-ichi.co.jp/>

日本商品先物取引協会 <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※ 当資料記載の情報内容およびお取引に関するお問い合わせは、お取引店(担当者)またはフューチャーズ24 (TEL**03-3462-8056**) までご一報ください。土・日・祝を除く毎日24時間体制でお応えしております。

※ 他の当社資料をお求めの場合は、

フリーダイヤル **TEL0120-431-561**

または、HPの資料請求フォーム <http://www.dai-ichi.co.jp/present/>
からお申込みください。

加入協会／日本商品先物取引協会
商品先物取引業者

第一商品株式会社

本社所在地 150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1

代表電話番号 **TEL03-3462-8011**